

風水害

■川の水位については、「川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>」で入手することができます。

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

まずは、
 確実な情報が大事
 その次に迅速な対応



強風注意報・暴風警報

強風注意報:

平均風速が 12m/秒以上と予想される場合

暴風警報:

平均風速が 16m/秒以上と予想される場合

大雨注意報

大雨によって被害が起こる
 おそれがあると予測される場合。

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる
 おそれがあると予測される場合。

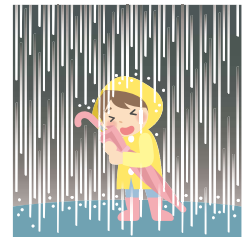
記録的短時間大雨情報 1時間に雨量 90mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

雨の強さと降り方

(1時間雨量)

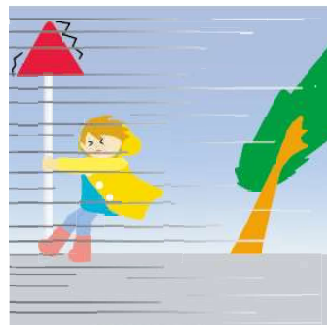
10mm 以上～20mm 未満	20mm 以上～30mm 未満	30mm 以上～50mm 未満	50mm 以上～80mm 未満	80mm 以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳しい警戒が必要。



風の強さと吹き方

(平均風速:1秒あたり)

10m 以上～15m 未満	15m 以上～20m 未満	20m 以上～25m 未満	25m 以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。



台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km 以上800km 未満	強い	33m/秒 以上44m/秒 未満
超大型(非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/秒 以上54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して多量の雨が降ることで、「ゲリラ豪雨」とも言われています。発生は予測が難しく、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう！



水害時の心得

被害の軽減

扉の下の隙間から汚水が入ってくるので、「土のう」や板などで前面を囲み、タオルで隙間をふさぎます。また、ポリタンクなど軽い物は事前に屋内に移しましょう。



危険なところには近寄らない

切れた電線のそばなど、危険な場所に近寄らないようにしましょう。また、氾濫水には汚水が混ざっているため、子供などがさわらないように気をつけましょう。



避難の前に確認を

避難する時は、電気ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、床下の通気口などをふさぎ、戸締りを確認しましょう。



水面下は危険です。2人以上で避難を

浸水した場所を歩く時は、長い棒を杖代わりにして、マンホールや側溝がないか水面下の安全を確認し、2人以上での行動を心がけましょう。



避難所までの移動

車での避難は、歩行者・緊急車両の妨げになります。また、浸水すると動かなくなるので使わないようにしましょう。風雨が激しくなる前に車両または徒歩で避難しましょう。風雨が激しくなってきたときは浸水の恐れがあるので車両ではなく徒歩で避難しましょう。



歩ける深さ男性約70cm、女性約50cm

洪水の場合、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmまで。それ以上になったら高い場所で救助を待ちましょう。



洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

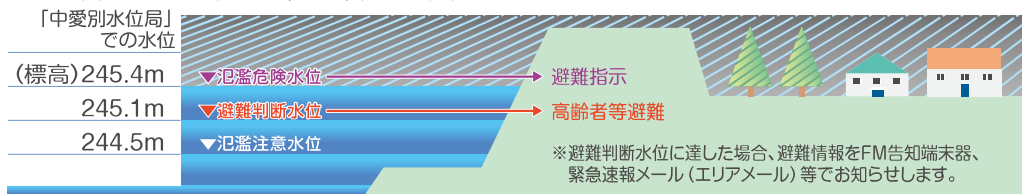
洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがある場合、注意を呼びかける予報です。

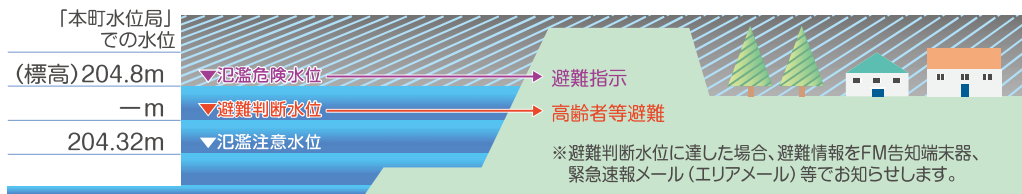
洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、警戒を呼びかける予報です。

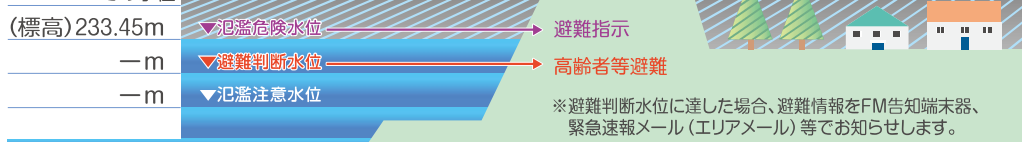
石狩川については次の基準を目安として避難の呼びかけをします。



愛別川については次の基準を目安として避難の呼びかけをします。



「協和橋水位局」での水位



■ 避難時の行動を示す「避難情報」については、今後、見直しされる場合があります。